

未来を想う。

JR東日本の「TAKANAWA GATEWAY CITY」は
100年先の心豊かな暮らしのための実験場。

浜辺 美波



2025年3月、高輪ゲートウェイ駅前にてまちびらきを迎える「TAKANAWA GATEWAY CITY」。
ここはどんな考え方でつくられ、どんな街になるのでしょうか。
JR東日本の新CMに出演中の浜辺美波さんが、まちづくりに込めた想いを知るためにJR東日本を訪ねました。

鉄道を起点にさまざまな事業を展開するJR東日本

私は実家が石川県なのでよく北陸新幹線にお世話になっていて、JR東日本といえば電車というイメージだったのですが、実はそれだけじゃなく、まちづくりも手掛けているんですね。

そうなんです。私たちJR東日本グループは、鉄道を中心としたモビリティ事業のほかに、IT・Suicaや駅ビル、エキナカといった生活ソリューション事業などで、すべての人の「心豊かな生活」のお役に立ちたいと考えているんです。

すべての人の心豊かな生活...。実現できたとしても素敵です！私もエキナカのお店が大好きで、つい買い物をしてしまいます。今回CMの舞台にもなった高輪ゲートウェイ駅ですが、駅前はずごく大々的に工事を行っていますね。

江戸の昔、このあたりはもともと海で江戸の玄関口でした。明治時代には「高輪築堤」を築き、日本初の鉄道が海の上を走った、日本と西洋の技術を掛け合わせたイノベーションを生み出した場所でもあります。こうした土地の歴史や先人たちの想いを受け継ぎ、私たちJR東日本も世界に新たなイノベーションや文化を発信する場として「TAKANAWA GATEWAY CITY」のまちづくりに取り組んでいます。

— そうなんです。TAKANAWA GATEWAY CITYはどのような街になるのでしょうか？

新たなビジネスや文化を創造し続ける国際交流拠点となることをめざしています。国際水準の住宅やコンベンション、ホテル、商業施設、オフィス、ビジネス創造施設などが一体となったこの街を「100年先の心豊かな暮らしのための実験場」と位置づけ、多様なパートナーと共創しながら日本各地や世界各国の社会課題解決につなげていきたいと思っています。

社会課題の解決につながる新たなまちづくりへ

— 100年先のことを考えるなんて、とても壮大ですね！多様なパートナーとの共創って具体的にどのようなことなのか、もう少し詳しく教えてください！

ほんの一例ですが、国内外の大学とスタートアップ企業や多様な共創パートナー企業・行政等が連携し、社会課題を解決する新たなビジネスを街で

実験しながら育て続ける仕組みをつくっています。そうして街で生まれた取り組みが、日本全国や世界に広がっていく未来をめざしています。

— 街を実験場としてどんな取り組みが花開くのか楽しみです！どんなお店や施設ができるのかも気になります。

駅前に建設中のツインタワーの上層階にはラグジュアリーホテル「JWマリオット・ホテル東京」が首都圏初進出します。さらにレインボーブリッジや富士山までも一望できるボタニカル・ルーフトップやレストラン、ファッションなどの商業施設が広がり、世界中から訪れるお客さまが快適に過ごせる空間となります。

— 街のシンボルとなる文化創造棟は「100年先に文化をつなぐ」をキーワードにさまざまなプログラムを計画しています。

新しい発見や自由な過ごし方を見つけることができる街

— 国際色豊かな街のイメージが浮かんできました。本当に大きくて新しい街なんだなとワクワクします！この街に来た時のお楽しみポイントってどんなことですか？

駅を降りた瞬間から、駅と街、開放的な広場が一体となった憩いの空間が広がる街になるので、大人も子どもも訪れるすべての方が新しい発見や自由な過ごし方を見つめることができると思っています。また、街で開催されるマルシェやイベントにご参加いただくことで、新しい自分の扉が開きかけや、知らず知らずのうちに地球や社会課題の解決につながる...なんてこともあるかもしれません。この街が、一人一人の100年後の心豊かな暮らしにつながる「GATEWAY」になるような、そんなまちづくりをめざしています。

— いろんな発見や体験ができそうですね！すごく夢のあるお話で、今からとても楽しみにしていました！



マーケティング本部
まちづくり部門 品川ユニット
齊藤 千明 島川 えり子



※イメージは現時点の案であり、今後変更となる可能性があります。

